

平 1 9 病 虫 防 第 3 号
平成19年(2007年)9月18日

関係機関・団体長
病害虫防除員
農薬管理指導士 } 様

山口県病害虫防除所長

水稻のトビイロウンカの今後の発生予想（技術資料第5号）について

水稻のトビイロウンカについては、8月16日付け平成19年度農作物病害虫発生予察警報第1号が発令され、現地でも防除対策等対応いただいているところですが、警報発令後、気温が平年に比べ高く、トビイロウンカの発生時期（防除時期）が早まっています。ついで、下記のとおり、防除対策の徹底をよろしくお願いします。

記

1 今後の発生予想

(1) 発生対象地域

県内全域（ヒノヒカリ等中生品種）

(2) トビイロウンカの発生時期（防除時期）（図 参照）

9月20日頃以降（第3世代幼虫期）

注1) 警報第1号を発令した8月中旬以降、気温が平年に比べ高かったため、発生時期（防除時期）が7～8日早まっている。

注2) 1か月気象予報（9月14日福岡管区気象台発表）では、今後の気温が高い確率は60%となっており、発生時期（防除時期）が早まる可能性が高い。

(3) 坪枯れ被害の発生

8月下旬以降、県内全域（特に県西部及び北部）のコシヒカリ等極早生品種で第2世代による坪枯れが発生している。9月20日頃以降に第3世代幼虫期となるため、今後収穫されるヒノヒカリ等中生品種については、これまでの予想より早い時期から坪枯れ及び吸汁被害の拡大が予想される。

2 防除判断

ほ場をよく観察し、多発生が確認された場合は直ちに防除を実施する。その場合、使用する農薬の収穫前日数等農薬使用基準を遵守する。

3 防除上注意すべき事項

(1) 防除時期が早まっているため、防除が遅れないように注意する。

(2) ほ場での発生状況を確認し、防除を的確に行う。

(3) 薬剤が株元にかかるように、丁寧に散布する。

(4) 収穫期が迫り薬剤散布ができないほ場は早めに収穫する。

(5) 必要以上に早い落水は、坪枯れの発生を助長するので、適期落水に努める。

飛来日	9月			10月					
	15	20	25	1	5	10	15	20	25
トビイロウンカ									
○ 6月25日	ooooo@	@@@@@ooooAA		AAAAAAAAAAAA	AAAAA	-----			
○ 7月2日	-----	oooooo	@@@@@oooo	@@@@@oooo	AAAAA	AAAAA	AAAAA	AAAAA	AAAAA
☆◎ 7月4日	-----	oooooo	oooooo	@@@@@	oooo	AAAAA	AAAAA	AAAAA	AAAAA
☆◎ 7月6日	-----	oooooo	oooooo	@@@@@	oooo	AAAAA	AAAAA	AAAAA	AAAAA
○ 7月10日	AAA--	-----	oooooo	oooooo	oooo	@@@@@	oooo	AAAAA	AAAAA

予測日 2007年 9月 18日 防除時期

凡例 A: 成虫 -: 卵 o: 幼虫 @: 防除適期
 ☆ 主要な飛来 ◎ 多飛来 ○ 並飛来 △ 少飛来

図 トビイロウンカの防除適期予測